

第1回 地域連携推進会議 議事録 (金沢ふくみ苑・共同生活援助ふくみ)

日時：令和7年11月14日(金) 15:00~16:05

場所：金沢ふくみ苑 面会室

司会：

記録：

1、開会の挨拶

荊接長より、会議の主旨や目的について説明を行い開会の挨拶を行った。

2、出席者の紹介

福祉に知験がある者(福祉大学学部長)	A様
地域関係者(町会長)	B様
利用者家族	C様
利用者	D様
利用者	E様
金沢ふくみ苑職員	3名
(金沢市障害福祉課職員…都合により欠席)	計9名

3、施設見学

共同生活援助ふくみ・障害者支援施設金沢ふくみ苑の施設見学を行った。

4、議題

資料に沿って説明を行った。

(1) 施設等・地域の連携

- ・障害者支援施設金沢ふくみ苑について、共同生活援助ふくみについて
- ・施設の行事・地域行事(現状)について
- ・近隣からの苦情等の共有

(2) 施設やサービスの透明性・質の確保

- ・BCP(業務継続計画)について
災害、感染症、それぞれの研修・訓練の様子
- ・経営状況の報告について
- ・人材確保について

(3) 利用者の権利擁護

- ・ヒヤリハット・事故報告の内容と取組み
- ・虐待防止について 取組みと研修

(4) 質疑応答・意見交換

○現在の町会の行事はどのようなものがあるか。

→10月に福増南町会のバーベキューを行ったくらいである。

○虐待防止の取組みテーマの「ちょっと待って」の言い換えについて具体的にはどのようなものなのか

→利用者の方に呼ばれてすぐに対応出来ない時、「ちょっと待って」と声掛けえをしようが、「ちょっと」の時間の間隔は個人個人で違う。すぐに対応出来るのか、長く待たせてしまうのか、分かりやすく伝えることで安心感にもつながるし、「待たされている」という気持ちにさせない目的である。

○職員が目が届かない所で、何かトラブルが起きた時、周りにいて見ていたであろう他の利用者から話を聞くことはあるか。

→状況を見ていた利用者の方から、「さっきこんなことがあった」と教えてくれることが多い。また、見ていたと思われる利用者にも職員から話を聞く場合もある。

○利用者同士の自治会などはあるのか。

→現在は立ち上げてはいない。

○では、今回の会議の参画についてどのように選定したのか。

→利用者集会で参画をお願いしたいことを伝え、参加しても良いと申し出がなかったため、こちらからお願いした。

○人材確保について、離職率の方はどのくらいか。

→定年退職を除けば、離職率は低い方である。人材確保についての説明会に出席した際、少子化もあるが、福祉を目指す学生が減少している、外国人労働者の受け入れを行っている施設もあるが、金沢ふくみ苑ではまだ受け入れの検討はしていない。2～3年かけて学校と調整を行い、住まいの確保や様々な準備が必要と聞いている。

○ICTについてはどのような状況か、またシステムメーカーはどこか。

→施設入所・短期入所・共同生活援助・相談支援で10月から電子記録（請求業務まで一括）のシステムを導入し、現在お試し期間、12月から運用出来たらと思っている。システムは「ケアカルテ」である。通所に関しては、先行して導入、運用している。慣れれば業務の効率化が期待できる。ペーパーとシステムをうまく共有していくところが難しいと感じている。

○町内での古紙回収について、以前のように参加したいと思っている。情報を教えて欲しい。

→子供会が中心で行っているため、今は分からない。今後、町会長を通じて子供会と連携していけたらと思う。

○福増南町会と金沢ふくみ苑のつながりについて

→金沢ふくみ苑は、町会の中でも端に位置しており、尚且つ周りに住宅がないため、町民としても意識がなかなか向きにくい。現状で町会と施設がどう交流していくかは難しいところがある。一つの案としては、金沢市一斉美化清掃に参加したり、「ふるさと福増を守る会」に参加して親睦を図っていくこと。

5、閉会の挨拶

施設長より、今回の会議で金沢ふくみ苑について知っていただいたこと、何より顔を合わせてお話が出来たことが大きな成果であり、また、頂いた意見をもとに町会との繋がりを再び構築し、開かれた施設を目指すことを今後の課題とし、ご参画頂いた皆様に感謝を伝え終了した。